

第2回 泉中学校統合準備委員会 会議録

日時	平成30年7月5日(木) 19時00分～20時07分
場所	泉市民館 2階集会室
出席者	委員(27名) 山内敏久、石川 易、伊藤純夫、山田 稔、伊藤康弘、太田優彦、藤村孝男、平井則章、吉田裕子、藤村浩仁、坂腰一輝、藤村明弘、下村友子、小原恵康、藤城孝行、中村文紀、玉越宏利、鈴木博好、河合良信、渡邊恵里、岩本吉幸、小久保浩明、立花英夫、山本忠史、鈴木 力、樽谷哲郎、森下しのぶ 事務局(11名) 花井教育長、宮川教育部長、伊藤教育総務課長、杉田学校教育課長、大羽企画課長、永井地域課長、荒木赤羽根市民センター所長、矢野学校教育課指導主事、小久保教育総務課課長補佐兼係長、彦坂教育総務課主査、藤井教育総務課技師
欠席者	なし
傍聴者	3名
	《事前の資料確認等》
事務局	配布資料の確認 ・次第 ・資料1 泉中学校統合準備委員会委員名簿 ・資料2 泉中学校統合準備委員会設置要綱 ・資料3 泉中学校統合準備委員会専門部会設置要領 ・資料4-1 これまでの経緯について ・資料4-2 泉中・赤羽根中校区図 ・資料5 泉中学校統合準備委員会等スケジュール(案) ・伊良湖岬中学校統合準備委員会 これまでの経緯
	《開会》
事務局	ただいまから第2回泉中学校統合準備委員会を始めさせていただきます。 なお、本日の会議は公開とさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。 初めに、花井 隆教育長からご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。
	《教育長挨拶》
教育長	皆さん、こんばんは。教育長の花井隆と申します。 今夜は天候不順の中、大変お疲れのところ、本年度第1回目の泉中学校統合準備委員会にお集まりいただき、大変ありがとうございます。 赤羽根中学校区と泉中学校区のコミュニティ会長を初め、校区自治会等の皆様、PTA役員の皆様、学校の先生方等、委員皆様全員のご出席をいただきまして、準備委員会として本年度最初の会を催すことができました。役員の指名や任命、そして本日に至るまでの経緯や今後のスケジュールについて説明があります。ぜひお聞

	<p>きいただきながら、さまざまな立場から話し合いに参加していただけたらと思います。</p> <p>平成30年度も1学期の末を迎えまして、今、それぞれの中学校では、週末の夏の総合体育大会に向けて練習に熱が入っていると思います。そういう中でも、今、統廃合の関係で、伊良湖岬中学校と福江中学校の統合まで、あと1年を切り、9か月となっております。来年の5月からは、新しい元号となります。そういう中で、西暦2020年に東京オリンピックを迎え、2021年の4月には、泉中学校が赤羽根中学校と一緒になるということで、ぜひ皆様方のご理解、ご協力をいただきまして、子どもたち一人一人が、整備された教育環境のもと、充実した健やかな学校生活を送れるようにご意見をいただきたいと感じております。</p> <p>この第2回の準備委員会は、昨年2月に開催が予定されていまして。本日、開催に至った事情等を後で事務局から説明いたします。そのようなことで、今回、新たなメンバーにも加わっていただき、ただいまから本年度最初の準備委員会を始めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	<p>《委員紹介及び設置要綱の説明》</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、本日は今年度最初の会議ということで、昨年度から交代されました委員の方々が約半数おられます。お手元に配付しました資料1の名簿をご覧くださいまして、自己紹介は、この名簿をもって省略させていただきたいと思いますので、どうぞご了承いただきたいと思います。</p> <p>次に、私から、この統合準備委員会の設置要綱について説明をさせていただきますので、資料2をご覧くださいと思います。</p> <p>泉中学校統合準備委員会につきましては、泉中学校と赤羽根中学校の統合を円滑に行うために必要な準備や検討及び調整を図るため、平成29年7月26日に設置されました。</p> <p>所掌事務といたしましては、第2条にございますとおり、教育課程、事前交流事業、学校行事に関する事、部活動に関する事、通学体制に関する事、PTA組織の運営に関する事、式典事業に関する事、そして、その他統合に必要な事項としております。</p> <p>委員につきましては、第3条におきまして、委員30人以内をもって組織することとしており、第4条では、皆様の任期につきましては平成33年3月31日ということで、統合の前日までといたしております。</p> <p>第5条では、委員長及び副委員長を置くこと、第6条では、委員会の議長は委員長とすることなどを定めております。</p> <p>また、第7条では、委員会に専門部会を置くことも定めております。</p> <p>以上で設置要綱の説明を終わらせていただきまして、ここからは議事の取り回しにつきまして、設置要綱第6条に基づきまして、議長である委員長にお願いしたいと思います。委員長、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

委員長	<p>それでは、ここからは私のほうで会議を進行させていただきます。円滑な議事進行に皆様のご協力をお願いします。</p> <p>本日は、先ほど教育長にお話しいただきましたように、足元が悪い中、御足労願ってありがとうございます。このままでも心配なのですけれども、その次の台風8号も、来週後半にはこちらに来そうな感じがしております。10年前ですかね、東海豪雨のような雨が降らないとも限りませんので、十分注意していきたいと思います。</p> <p>あと2年半で、予定の統合時期が来ます。委員会をスムーズに進めるため、皆様のご協力をぜひお願いいたします。</p>
	<p>《副委員長の指名》</p>
委員長	<p>それでは、初めに、副委員長の指名についてですが、前の副委員長でありました高松コミュニティ協議会の柴田陽助会長が退任されまして、現在、副委員長が不在となっております。新たに副委員長の指名を行うものでございます。設置要綱第5条第3項の規定によりまして、「副委員長は委員長の指名による」となっておりますので、副委員長には、赤羽根校区コミュニティ協議会会長の中村文紀さんを指名させていただきます。どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、中村副委員長から挨拶をお願いいたします。</p>
副委員長	<p>皆さん、こんばんは。副委員長に指名いただきました、赤羽根校区会長の中村文紀と申します。</p> <p>山内委員長をサポートしながら、泉中学校と赤羽根中学校の統合が円滑に進みますよう、皆さんと一緒に準備していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。よろしくをお願いいたします。</p>
	<p>《部会長の任命について》</p>
委員長	<p>次に、各部会長の任命についてでございます。まずは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、資料をもとに説明させていただきます。資料3をご覧くださいと思います。</p> <p>泉中学校統合準備委員会専門部会の設置要領でございます。</p> <p>泉中学校統合準備委員会では、専門部会として四つの部会を設けてございます。まず上から、総務部会といたしまして、卒業作品、記念物などの調査や取扱い、また閉校式や出発式などの式典に向けた検討や準備、歴史や伝統の保存などを今後どうするかということを決めていく部会でございます。</p> <p>二つ目のPTA部会につきましては、PTA組織、経理の一元化を図ること、現PTA組織を解散するに当たっての精算方法や決算について協議していきます。また、新たなPTA組織の編成に伴う役員の選出方法や規定などの見直しを検討していく部会となっております。</p> <p>三つ目の学校運営部会につきましては、教育課程や学校行事の調整、事前交流事業の計画、また心のケアなどの支援対策を行っていく部会です。また、部活動の運</p>

	<p>営計画、生徒の服装や持ち物、校則、生徒会役員などの選出方法を検討していく部会となっております。</p> <p>そして、四つ目の通学・安全部会につきましては、通学手段の検討と通学路の安全対策を主に検討していく部会ですが、仮にスクールバスを運行させた場合の運行ルートやバス停、運行時間などの調整や通学路の安全対策を調整していくものとなっております。</p> <p>そのほか部会以外では、表の下にございますように、学校備品の整理や廃棄物品の関係、それから文書の保存などについて、こちらは学校と、事務局であります教育委員会で調整を図っていくものでございます。</p> <p>そこで、改めて資料1の皆様方の名簿をご覧ください。</p> <p>皆様のお名前の右側に、総務部会、PTA部会、学校運営部会、通学・安全部会という欄がございます。皆様方を部会員としまして、今後協議、調整を図っていただきたいところに丸をつけてございます。重複する、一人何役という方もおられますが、ご自分がどの部会に所属しているのかということをご確認いただきたいと思っております。</p> <p>なお、全体を通した流れで申しますと、まず部会で調整をしていくこと、それから検討中であること、さらには部会の中で決定したことにつきまして、次回の統合準備委員会で報告していくという流れでございまして、部会では決められない事項につきましては、準備委員会で協議して最終的に決定するといった流れになりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で部会についての説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。事務局の説明が終わりました。</p> <p>部会長につきましては、設置要綱第7条第2項に、委員の中から委員長が任命するというようになっておりますので、ここでお諮りします。総務部会の部会長に泉中学校の小久保先生、PTA部会の部会長に赤羽根中学校の樽谷先生、学校運営部会の部会長に赤羽根中学校の樽谷先生、通学・安全部会の部会長に、前江比間自治会長の伊藤さんをお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。賛成される方は、拍手をお願いしたいと思います。</p>
	(拍手)
委員長	<p>ありがとうございます。拍手多数です。皆さん、どうぞよろしくお願いいたしますと思います。</p>
	《これまでの経緯と今後のスケジュールについて》
委員長	<p>次に、これまでの経緯と今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局長	<p>それでは、引き続き資料4-1をもとに、これまでの経緯についてご説明させていただきますが、初めに皆様方に1点お詫びを申し上げます。</p> <p>冒頭、教育長の挨拶でもございました点ですが、先ほどの議題4の中で、各部会において調整や協議などを行った事項については、次の統合準備委員会で報告をす</p>

	<p>るのが流れですと説明させていただきました。本来ですと、予定していた、今年の2月に第2回の統合準備委員会という形で、今から説明するこれまでの経緯の内容を報告すべきでありましたが、年度末が近づく中、役員交代の時期などもありました。そういったことを考慮したことによりまして、2月の準備委員会の開催を見送りました。そのため、第2回の開催が本日になりましたこととお詫び申し上げます。したがって、今からの経緯の説明につきましては、昨年度開催された各部会の検討事項の報告と兼ねておりますので、どうぞご了承いただきたいと思っております。</p> <p>それでは、資料4-1をご覧くださいと思います。</p> <p>まず統合準備委員会につきましては、平成29年7月26日に第1回として開催しております。ここでは、各部会で検討していく事項について協議をいたしました。</p> <p>次に、専門部会についてでございますが、まず学校運営部会を昨年12月20日に行っております。</p> <p>ここでは、事前交流事業といたしまして、合同合唱祭と合同長距離走駅伝大会を実施したことの報告。年間行事や日課表、また生徒の服装、持ち物、校則などを比較したこと。検討事項としましては、原則として新1年生からは、服装や靴などについては同じものにするのが望ましい、好ましいということ。そこから3年かけて統一を図っていけばどうかということ。さらに、制服やジャージについては、赤羽根中学校のものを基本とするが、さらに両校で協議をしていくことなどを話し合いました。</p> <p>続けてですが、部活動の運営につきましては、両校の部活動の比較や、片方にしかない部活動をどうするかなどについて、現在も検討しております。</p> <p>次に、PTA部会ですが、今年の2月14日に開催をしております。</p> <p>ここでは、PTAの会則などの比較を行って、役員や理事などの総数、PTA会長の分担、会長以外の役員の割り振り、委員会の組織などについて検討を行っております。</p> <p>次に、通学・安全部会ですが、昨年11月27日に行っております。</p> <p>ここでは、遠距離通学の基本方針について説明をした後、両校区の図面をもとにしまして、通学路としての路線を検討、あわせてスクールバス通学の場合のルートについて検討しております。</p> <p>なお、総務部会につきましては、閉校式や歴史伝統に関する事項ということがメインになっております。ですので、この現段階から検討していくには若干時期が早いということで、部会は開いておりません。</p> <p>なお、通学・安全部会で検討している通学路ルートの図面、皆さんのお手元にあります資料4-2、A3のカラー刷りですが、こちらの説明を課長補佐の小久保からさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、私から資料4-2の説明をさせていただきます。</p> <p>まず、先ほど課長からお話がありましたとおり、平成29年11月27日に第1回目の</p>

通学・安全部会を開催させていただいております。

主な内容としましては、泉中学校の再編整備方針に従いまして、遠距離通学への対応として、スクールバスの運行について協議を行っております。

まずスクールバスの運行についてなのですけれども、原則といたしまして、統合したからスクールバスということではなくて、6キロメートルというものが、中学校の場合に、田原市教育委員会の決定事項としまして、小中学校の再編に伴って遠距離通学の基本方針というものがございまして、そちらで中学校は通学距離がおおむね6キロメートル以内ということが定められております。統合によって遠距離通学となった場合に通学の支援を行うという定めがありますので、それに従いましてスクールバスの検討を行っております。

資料4-2になりますけれども、1回目ということで、こちらで情報といたしまして提示をさせていただいて、これに基づいていろいろなご意見を頂戴したという形になっております。

資料の見方としましては、まず泉の子たちが赤羽根中学校に通うに当たってメインとなる通学路が、赤く示してあります県道になるかと思えます。こちらを通った場合に、写真が3枚ほどつけてありますが、歩道が設置されていない区間がありまして、自転車で通うには危険だということで、八王子の公民館でいきますと、八王子の公民館から赤羽根中学校までが大体5.5キロメートルということで、先ほど言った基準でいきますと、本来ですと自転車通学も可能な距離ということになりますけれども、現状は歩道も整備されていない状況で、自転車での通学には不安があるということで、スクールバスの検討をさせていただいております。

資料のほうで、バスの大きさによつての乗車できる人数ですとか、泉中学校が統合した場合の平成33年度からの生徒数の見込み、地区ごとの生徒数の見込み、スクールバス運行の登校や下校の時間、部活動での行き来ですとか、そういった夏休みなどの部活動の送迎とか、そのあたりを含めて、どういった経路で何台走らせるのがよいのかというところを検討してまいりました。

その中で、いただいた意見としましては、人数が一番多いときで82名ということで、大型と中型の2台くらいというところが考えられるのですけれども、例えば地区によっては、大型バス1台とマイクロバス2台ではどうかというような費用比較ですとか、県道の歩道整備について見通しはどのような感じなのかというような意見をいただいております。

あとは、八王子の公民館から5.5キロメートルですが、自宅からだとも6キロメートルくらいになる子はバスに乗れるのかとか、泉中学校にみんな集まって行ってはどうかですとか、八王子までみんな出てきて、そこからみんなで行ってどうかというような意見もいただいております。こちらにつきましては、いずれも決定した事項はございませんので、このあたりの生徒数の見込みですとか、地区ごとの生徒数によってバスを何台にして、どこから出すとか、経路をどういった形で進めるかというところを今年度から少しずつ詰めていきたいと思っておりますので、よろしく

	<p>お願いします。</p> <p>私からの説明は以上です。</p>
事務局	<p>続いて、資料5になります。今後のスケジュールとしてはどうかということで、スケジュールを説明させていただきます。</p> <p>資料5につきましては、まず表の上から統合準備委員会についてのスケジュールが、今年度の平成30年度から統合前の平成32年度までの3か年で割ってございます。今年度につきましては、来年2月に今年度の第2回目の統合準備委員会を開催する予定であります。</p> <p>そこから下、総務部会、PTA部会、学校運営部会、通学・安全部会等がございますが、そちらについて、その2月の統合準備委員会の間で部会を開催して、それぞれの調整事項や検討事項を検討してまいる期間になってまいります。</p> <p>なお、部会もあわせて、開催していく時間につきましては、皆様方、お仕事を持っておられますので、本日のように午後7時からというのが基本になってくるかと思いますが、開催日等につきましても、それぞれの部会長と、時間、日程等の調整をさせていただきながら皆さんにご案内をしております。ということで、各部会ごとに、まずは進めていく方法を練っていく作業に入っていくということでご理解いただきたいと思います。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいま昨年度行いました各部会等の説明がございました。新しく委員になられた皆さんには、なかなか内容についてわからないところが多いと思いますので、どのようなことでも結構ですので、これは聞いておきたいということや、意見等がございましたらお願いします。</p>
委員	<p>いいですか。</p>
委員長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>今日の次第に書いてある内容で流れてきているのですが、今日は協議題というのは何かあるのですか。</p>
事務局	<p>今日の協議事項はございません。今年度最初ということ、それから委員が約半数かわられているということで、平成29年に立ち上げましたこの準備委員会のこれまでの経緯、それから各委員に、これからやっていただきたい役割をご説明させていただいたものでございます。</p>
委員	<p>細かいことを聞いてもよろしいですか。</p>
委員長	<p>結構です。</p>
委員	<p>新しい委員も見えるということですので、設置要綱についてお聞きしたいのですが、第1条の「泉中学校の赤羽根中学校への統合」という表記がございますけれども、内容は泉中学校と赤羽根中学校との統合という認識でよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい。そのとおりです。</p>
委員	<p>文言修正はしないのですか。あくまでも吸収のような印象を与えかねません。よ</p>

	ろしいですか、これは。
事務局	<p>昨年も、それに似たようなご質問がございました。設置要綱につきましては、現在こういった、確かに委員が言われるとおり、吸収ととられるような表現かと思えます。要綱の改正は可能でございますので、皆様のほうで、やはりこの表現を変えたほうが良いということでございましたら、変えさせていただくことが可能です。</p>
委員	ちょっといいですか。
委員長	どうぞ。
委員	<p>資料をいただきましたけれども、これまでの経緯についてという資料4-1ですけれども、例えば統合準備委員会第1回を昨年7月26日に行いましたけれども、項目はここに書かれているとおりでございますけれども、出された意見等は、ここに記述は何もないので、例えば新しい委員におかれましては、第1回目においては、どのような意見が出たのか、あるいはそれに対して事務局はどのように答弁したのか、一切見えてこないのです。あるいは、専門部会の報告ですけれども、検討した項目は書かれておりますけれども、今言ったように、どのような説明をして、どのような意見があったのか、そうしたことが全然見えてこないのです。この資料をもらっても、全然そういったことが見えない。特に、大事なスクールバスの検討が11月27日に行われたということですが、「遠距離通学の基本方針について説明をした」と書かれておりますけれども、この基本方針というものを私は知りません。それから、ルートを検討したとありますけれども、どのように検討されたのか全然見えてこないのです。この準備委員会とは、例えば今までの経緯についての説明があったわけですが、これで流れていってしまえば、これでおしまいですよ。その点、いかがでしょう。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりの点もございます。本日の開催につきましては、事前に山内委員長と調整させていただき中で、例えば専門部会について先ほど委員が言われた、どういった質問があって、どういった回答をしたかというところまで進めていくと、逆に新しい委員の混乱を招く可能性があるため、今回については、部会としてどういったことを決めていくかの協議を前面に出した内容にしたいということで進めさせていただきました。またこれを、次の部会を開催していく中で、それぞれの1回目の意見、質問、回答等について提示をしながら進めていきたいと考えております。</p> <p>それから、確かに平成29年の準備委員会ときには、泉中学校の再編整備方針の資料1として出しておりましたが、本日その添付がございませんので、委員には改めて後日お送りさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>今、私が言ったのは、こうした大事な会ときには、通常であれば議事録が出てくるはずなのですが、議事録というものは出てこないのでしょうか。</p>
事務局	<p>議事録につきましては、今まで、この統合準備委員会、平成29年7月に行ったものにつきましては、今回お持ちしておりませんが、次回から提示をさせていただきますと思います。</p> <p>なお、ホームページには、議事録として会議録は載っております。</p>

	以上です。
委員	<p>幾つか気がついてしまったので、もう一つ言わせてください。</p> <p>昨年度、第1回の際に、スケジュール、今後の予定ということも協議題として上がっておりまして、そこで一応協議がされて決まったのですよね。それで、今回出されたスケジュールがもう変わっていますよね。というのは、昨年度の2月と言われましたけれども、そこであるものについては、年度末だからやめにした、だから現在の会議があるというのですが、昨年度第1回の資料では、5月に実施をして、9月に実施をして、1月に実施をするというような予定が明記されていたのですよね。そうであるならば、今回5月の会議があって、9月の会議があって、1月の会議があるというのが普通の認識だと思うのですが、違うのでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年7月に出ささせていただきましたスケジュール案の中では、確かに平成30年度については、先ほど言われたとおり、5月、9月、1月という3回の予定でございました。ただ、こちらにつきましても、これをこれから逆算してまいりますと、平成30年度については、この時期では2回の統合準備委員会ということで事務局で決めさせていただいたために、今回またスケジュール案としてお示しをさせていただきましたので、ご了承いただきたいと思います。</p>
委員	では、今回は変更案として示したということ。
事務局	はい。そのとおりでございます。
委員	よろしいですか。
委員長	はい、どうぞ。
委員	<p>新しくなったものですからわかりませんので、二つお聞きしたいのですけれども、統合準備委員会の下に各部会があるのですが、各部会で話し合われて決めた事項については、その部会が決めれば決定事項ですか。</p>
事務局	<p>いえ、違います。まず部会を開いていただきます。部会の中で、これでいきたいと思いますという話があったものについても、それから検討中のものについても、統合準備委員会、皆さんがいる中で、部会から報告をいただいて、これで決定したいと思います。皆さんどうでしょうかという形で、最終的にはこの場で決めるということです。</p>
委員	<p>そうすると、今言われた、昨年話し合われたことは、まだ一つも決定がなされていない。</p>
事務局	はい。ないです。
委員	<p>2点目なのですけれども、次回の統合準備委員会は2月なのですけれども、幾つかの部会の中で、子どもにかかわること、学校運営部会、もう来年度の1年生は、3年生になるときに統合になるということで、実質かかわってきますので、子どものことに関しては早い時期に決定して、通知をしていかないと困ると思うのです。そうすると、2月に決定になると遅いと思いますので、昨年案でいきますと、9月にはもう行っていますけれども、できれば11月、12月あたりにやっていただかないと、今の6年生の保護者への報告ができないと思うわけです。そこで、この日程</p>

	について検討していただけたらと思います。
事務局	委員から、統合準備委員会のスケジュール案訂正についてのご意見がございました。委員長のほうでお諮りいただいて、開催回数や変更等がありましたら、お願いいたします。
委員長	ただいまのことについては、各部会で検討していただいて、臨時というか、例えば11月に準備委員会を開くという形でも結構ですので、決めることを早く決めていかないと、時間があってない、もう2年半しかございませんので。
教育部長	準備委員会を、現在2回という案を提示しておりますけれども、増やして11月か12月に1回開くということで皆さんご了承いただければ、スケジュール案を修正してまいりますけれども。
委員長	どうですか。PTAや学校の先生方が詳しいので。
委員	いいですか。
委員長	はい。
委員	学校運営部会ですけれども、今、一番急がなければいけないのは、部活動をどうするかという問題です。なぜかという、今の6年生が中学3年生になったときに統合ですので、それまで中学1年生、2年生をどういう部活動で過ごすかということがかかわってくるわけです。だから、平成32年までに決めればいいのかではなくて、これは中学校へ入る時点で、3年後はこうなるから自分はこれをやるという形にしないといけませんので。それを、遅くても中学校の入学説明会が2月だと思うので、そこでは絶対にはっきり示さないと、保護者も児童も困ると思います。ですから、それには絶対に間に合わせないといけませんので、部会で決めてオーケーならいいのですけれども、やはりこの委員会を通すということになると、その前に必ずやってもらわないと間に合いませんので、11月、12月、どちらかになると思いますが、最低でもその話題だけでもオーケーをもらわないと困ると思います。
委員長	11月、12月くらいに委員会を開催するという。皆さん、よろしいでしょうかね。
委員	すみません。
委員長	はい。
委員	去年、こういう部会があって山上校長先生がお見えになったとき、陸上部をつくるのか、そういう話があったと思うのですよ。その後、その話も全然周りから聞こえてきませんし、結局、今、校長先生が言ったとおり、僕も6年生の子どもがいるのですけれども、統合準備委員会へ行ってくると出てきても、何が話し合われたのと言われたときに、正直言って何も答えられないです。ですので、6年生が中学3年生になったときに赤羽根中学校との統合ということになりますので、やはり部活動は本当に早く決めてもらいたいと思います。そうでないと、やはり子どもも、今はバスケットボールを中学校はやっていますけれども、赤羽根中学校になったときにバスケットボールは多分ない。じゃあ、何をやればいいのかという話なので、ぜひその辺は早く決めてもらって、子どもたちに言ってあげたい。自分は何をやっというと思ったときに決めないと。ぜひその辺をやっていただけるとありがたい

	です。
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>その点について、補足ですが、皆さんがご心配されておおり、特に学校運営部会についてのお話をさせていただきますと、ほかの統合準備委員会のお話をしてはいけませんが、伊良湖岬中学校と福江中学校の統合準備委員会も、今、行っております。その中でも同じような話で、やはり学校での活動、部活動、それから制服等を、やはり一番早急に決めていく、それから両校区で周知をしていく、保護者の方にお知らせしていくといったものが一番早いかと思います。</p> <p>現在、この学校運営部会につきましては、決めることのほとんどが学校間で行われておりますので、まだ部会は今年度開催しておりませんが、両校の先生方の中で話し合いをしております。先ほど藤村委員がお話ししていた部活動のことはどうなっているのかということにつきましても、現在両校で調整をしております。それが次の専門部会を開いたときに示されてきて、こういった案が示されたらどうなりますかという話が出てくるということ、どうぞご了承いただきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
委員長	よろしいですか。
委員	はい。
委員長	<p>ほかにございませんか。</p> <p>11月か12月に開催するというので、ご了承願います。</p> <p>では、必要に応じて開くという形をお願いします。</p>
教育部長	部会をやっていく中で、これは早急に決めるべきものができたら、また委員長を通じて申し出てもらえば、日程を調整いたしまして準備委員会を開くという形にしてはいかがでしょうか。
委員長	皆さん、それでよろしいですかね。必要に応じて開催するというので、年2回、3回ではなくて、多いときには4回、5回となると思いますので、よろしく願いいたします。何しろ子どもの未来がかかっておりますので、よろしく願いいたします。
教育部長	それでは、原則、今のスケジュール案で言うと、今回7月、次が11月頃、2月というあたり、これが基本で、あとは部会の進みぐあいによって随時開くという流れでよろしいでしょうか。
委員長	<p>お願いします。</p> <p>ほかにございませんか。</p>
委員	<p>なければ、これで終わってしまうのですよね。</p> <p>こういう統合準備委員会のお便りが、この後、出てくると思うのですけれども、課長にも以前、お願いをしたのですが、前回、第1回目のお便りを出され、伊良湖岬中学校の統合準備委員会も、お便りは確か5回ほど出ているのではないかと思います。見させていただいて、非常に私もこだわるのが、話し合われた内容が見えてこない。先ほども申し上げました。伊良湖岬中学校のお便りをさっと見ますと、</p>

	<p>5回の中で、こうした委員の意見が載っているのが1回だけです。4回は出ていません。それに対しては、こういう意見が出て、このように回答しましたというのが1回だけ出ていました。前回、第1回目のときに出していただいたお便りの中で、この委員会で話し合われた内容や、統合に向けた取り組みの状況を皆様にお知らせしますと書かれておりますので、委員の生の声をぜひここに載せていただきたい。そうしないと、住民の方に周知するといっても、これを読んだ住民の方々は、こういう会議が開かれたんだ、内容はわかりませんがと、こうなってしまうのですね。内容は、さっぱり見えません。その辺は、くれぐれも精査をしていただいて、詳しくお伝えいただけるようにしていただきたいと思います。</p> <p>これがまず1点と、それから、もう1点。全然関係ないのですが、私、前回、統合に向けて先行した野田中学校と田原中学校の例があるので、特に野田中学校から田原中学校へ通学することになった子どもたち及び保護者の生の声、よかったと思うこと、こういう点が改善すべきことであったということ、これを資料として出してほしいというようなお願いはしたのですが、いかがでしょう。</p>
事務局	<p>まず1点目のお便りにつきましては、確かに委員の言われた点がございまして、精査させていただきます。次回から皆さんの生の声を入れる形でいきたいと思っております。</p> <p>それから、もう1点の、先行して統合をしております野田の生徒が田原中学校へ行っている生の声につきましては、こちらもアンケート等は確かにっております。次回の統合準備委員会の中では出せると思いますが、ただ、それがまた11月、12月だと、遅くなってしまいますので、皆様方に直接郵送なり、部会のほうが早ければ、部会で皆様方にお渡しできるように対応させていただきます。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>というのは、もう一つ余分なことを言いますと、野田中学校の、実際3年生のときに田原中学校へ通うことになったという保護者の方から生の声を聞きました。非常にその当時、野田中学校から田原中学校へ統合という形、拙速に動いた、皆さんもそのような感想を持ったのではないかと思います。実際に通った子どもたちの親御さんは、正直なことを言いますと、子どもが異常なストレスを1年間抱えて通ったと。当然部活動は、なじめない。学級にもなじめない。1年間、本当に3年生として、そういった1年を過ごしたのですと。それはそれで、子どもも親も支援の仕方が足りなかったというようなことを言うておりましたけれども、特に統合に向けてその保護者が言うには、親の意見を聞いてもらえなかった、聞いてもらう機会がなかった、そのようなことを申しておりました。こういう場では、保護者の生の声を聞く機会は少ないと思いますけれども、各委員はそれぞれの地域から出てきているので、やはり保護者の生の声もぜひ生かすような形で進めていただきたいと思っております。お願いします。</p>
委員長	<p>よろしいですか。</p>

	<p>今、各部会を開くときに、例えば保護者の方を呼ぶこともできますので、そういった方に積極的に声をかけていただければありがたいというように思います。こういった席に保護者の方が20人、30人いても、なかなか意見が言えないと思いますので、部会の中で推していただければありがたいと思います。お願いします。</p> <p>ほかにございませんか。</p>
委員	いいですか。
委員長	はい、どうぞ。
委員	<p>その部会のときに、今回の伊良湖と福江、前回の野田と田原という、いい見本、悪い見本というのが、先ほど言われたような意見もそうですし、あると思うのですね。それも、前はこういうことがあったという資料があれば、またそれを参考にして、よりよいものにしていけるといいうところもありますので、そういった参考の資料があれば助かると思うのです。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほども委員が言われたとおり、野田の生徒が田原中学校、それから小学校になりますけれども、伊良湖、堀切、和地小学校の子たちが、統合して3校が一つになって、伊良湖岬小学校になったときの子どもや親御さんのご意見をいただいたアンケートをまとめてございますので、皆さん方にお示しさせていただいて、その中で出てくるメリット、デメリット、それから、こうしていったほうがいいのではないかという意見を、またここから吸い上げていきたいと思っております。ただ、それに固執し過ぎてしまって、今回の統合がそれに倣ってという形ではない形も必要だと思っておりますので、また新しい形のそういったものを参考にしながら、よりよい統合に向けた形にしていきたいと思っておりますので、その点はよろしく願いいたします。</p>
委員長	よろしいですか。
委員	はい。
委員長	<p>ほかにございますでしょうか。ないですか。</p> <p>それでは、ないようですので、このようなスケジュールで進めていくことといたします。事務局、いろいろな意見がありましたので、注意をお願いしたいと思います。</p>
事務局	はい。
	《その他》
委員長	次に、その他ですが、事務局から何か連絡事項がありますか。
事務局	<p>それでは、2点ほどお願いいたします。</p> <p>これで各部長に、今後の専門部会をいつごろ開くという日程の調整をさせていただきます。それぞれの部長の方にご連絡をさせていただきますので、その日程を決めた上で、その部会の委員の皆さんにご案内をさせていただきます。その際に、先ほどもお話がありましたとおり、皆さん代表で来ていただいているところもありますので、それぞれの地域の親御さんの声を聞いていただきながら、今度専門部会があるけれども何か話はないかというような話も質問事項で聞いてきていただいて</p>

	<p>も結構ですので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それから、もう1点が、今日、もう1枚お示ししてあります伊良湖岬中学校の統合準備委員会が先行して行われておりますが、こちらにつきましては、説明は省かせていただきます。といいますのは、伊良湖岬中学校と福江中学校につきましては、いよいよ来年度4月が統合の時期ということで、喫緊に迫っているということ。それから、逆に泉中学校、赤羽根中学校については、昨年度スタートして平成33年4月という時期でございますので、その中でこの経緯を見ながら、どの時期にどういったことを決めていこうとしているのかというものを参考にさせていただきたいと思ひます。先ほども樽谷委員からありましたとおり、確かに学校の関係が早急に出てきます。やはり部活動や制服、ジャージ等は、今の小学生の親御さんが気にするときになりますので、そういったところにつきましては、詳細な調整をしていく時期に既に入っておりますので、その点、ご理解いただきたいと思ひます。</p> <p>こちらからは以上です。</p>
委員長	委員の皆さんから、全体を通したご質問等、これを聞いておきたかったというものがありましたら。
委員	よろしいですか。
委員長	はい、どうぞ。
委員	このメンバーの中に泉中学校の同窓会の会長が入っておみえではない。中学校に事務局があるので、私がお伝えすればいいのですが、考えてみれば、同窓会長に入っていた方がいいかなと思ひます。
事務局	統合準備委員会につきましては、委員という形で皆さん方にお諮りする場でございますが、伊良湖岬中の統合準備委員会でもそういったお話があったのですが、それぞれの部会の中に委員でない方を、有識者といいますか、その方を部会に呼んでいただいたり、それから、先ほど立花委員が言われたとおり、事前に同窓会の会長に、こういったことが調整されるけれどもという形で、調整を事前にした上でお話をもらってもいいかと思ひますので、部会で調整をしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。
委員長	それでよろしいですか。
委員	ありがとうございます。
委員長	ほかにございますでしょうか。
教育長	最後に私、一度、意見を言わせてください。
委員長	熱い思ひを。
教育長	いや、いや、そんなものではないです。終わる前で。皆さんにもう少し聞いていただいたあとで。
委員長	ほかにございませんか。PTAのみなさんは保護者の方にきて来ていただきたいと思ひます。直接、生の声を反映させたいという方がいたら、部会の中に出席をしていただいて、意見をいただければありがたいと思ひます。
	ほかにございますか。

委員	いいですか。
委員長	どうぞ。
委員	<p>通学・安全部会のほうなのですけれども、例えば通学のバスとか、いろいろあると思うのですよ。道の問題とか、八王子地区からいうと、自転車でも行けますというときに、例えばスクールバスは何台にしてください、道は自転車が通れるようにしてくださいということを要望したときに、市としては全て解決できるのか、どこまで対応していただけるのかというのをすごく心配しているのです。例えば統合したときに、統合しても自転車が通れる道ではない、スクールバスも完璧ではないというときに、どのように市としては全て受け入れてくれるのか、それはどのように思っているのですかね。</p>
事務局	<p>まずスクールバスの台数につきましては、当然専門部会の中でこれから協議をしていくのですが、まずはどういうルートで来るか、それから赤羽根中学校に停留所をどういう形で持っていくかというのがあります。それから、例えば八王子とか、仮に今の泉中学校を集合場所にするのかとか、そうすると何人集まるのかとか、八王子も基点にするとかいう話をした中で、バスが東西で、例えば大型と中型、中型とマイクロとか、マイクロ2台とか、マイクロ3台で行けるのではないかとか、人口の増減も見ながらですが、その中で、3台なら3台でいこうというのを専門部会の中で決めていって、この準備委員会でお諮りをするというようになります。</p> <p>それから、それと連動して道路の安全面につきましては、今のルート案でいくと県道でございますので、県に要望を出していくということで、泉校区につきましても、既に校区からも要望は前々から出しているところでもございますし、今後もそこがルートに決まった時点で、校区からもそうですし、私どもからも担当課に要望の順位を上げてもらうように図っていきます。ただ、それが市道ではないということだけはご理解いただいて、教育委員会としては、道路の安全が確保できない限りはスクールバスの運行は当面続けていくというのが大切。</p>
委員長	よろしいですか。
委員	はい。
委員長	<p>ほかにございますでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、教育長。</p>
教育長	<p>では、よろしく申し上げます。</p> <p>今日、ある意味、予定はしてお集まりいただいたのですが、内容的には多くの皆さんの中に、唐突にこうやって資料をもらったようなこともあるかなというように思いますので、教育委員会として、もう少し会の持ち方、それから資料の提示の仕方について、また工夫してまいります。そういうことも含めて、皆さんが先ほど言った生のご意見、素朴な疑問をお寄せいただきたいということですが、直接なかなかこういう会で言うのも、言いにくい部分もあるかと思えます。今日はコミュニティ会長の方々、PTAの役員の方々、それから学校の校長先生を初め、さまざまな</p>

	<p>方が見えますので、言いにくいような場合は、ぜひそういう方に相談していただいて、このように思うのだけれどもということ、私たちとしてはできるだけ多くの生の声を受けて、この赤羽根中学校と泉中学校がうまく統合するようにやっていきたいと思えます。その辺、やはりこういう会で手を挙げてものを言うというのは、なかなか勇気が要ることをございますので、また隣近所等と相談していただいて、いつでも教育委員会はここに首を並べておりますので、電話なり、直接来ていただいても結構ですので、聞いた意見でこれはというものは、ぜひこちらにお寄せいただきたいというように思えます。</p> <p>それから、今日のスケジュール変更でも、早速変更が出て申しわけないと思えますが、それでもいい方向に変えていきたいということで、またいろいろなところで変更、こんなはずではないということも出るかもしれません。一応、私が一番の責任者として、いろいろな面で責任を持って見ていきたいと思えますので、時間がなくて皆さんにお諮りできないようなこともあるかと思えますが、コミュニティの会長とは連絡を取り合う中で進めるかもしれません。いろいろな場面で急を要する展開が想像できますので、それは皆様のご意見をいただく中で、そういう格好になるかと思えます。その辺もお含みいただいて、聞いていないぞというようなことになってしまわないように私も心がけていきたいというように思えますので、いろいろな点でご指摘をいただきながら、先ほどの統合だよりの意見も入れながら何とかやっていきます。今日、皆さんの貴重なお時間をいただいて、こちらの準備不足で、まずい部分があったというように私も大変反省しております。皆様方には、いろいろな疑問、ご意見、ご理解と協力を高める中で、この会がうまく進んでいくことを切に願っておりますので、遠慮のない、忌憚のないご意見を出し合ってください、子どもたちが健やかに元気に、3年後に統合ができるようによろしく願いたいとたく、まだ私のほうでも足りないと思ひながら今話しております。足りない部分は、みんなでぜひ補い合いながら進めていけたらというように思ひますので、引き続きどうぞよろしく願ひいたします。今日は大変ありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして第2回泉中学校統合準備委員会を閉会といたします。長時間にわたり、お疲れさまでした。</p>